**伐採の始期の30～90日前で届出書が提出されているか？**

伐 採 及 び 伐 採 後 の 造 林 の 届 出 書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　令和４年４月１日

　　　登米市長　熊谷　盛廣　殿

住　所　登米市東和町○○字○○１-２

1. **伐採箇所ごとに届出書を作成する。**
2. **複数地番にまたがる場合は、すべての地番を記入する。**
3. **届出に係る区域を示す図面を添付する。**

届出人 氏　名 登米　太郎

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

　本伐採は届出者である（のうち）○○○○が所有する立木（又は長期受委託契約に基づき△△△△が所有する立木）を伐採するものです。

1. **届出人が森林所有者その他権限に基づき立木の使用又は収益をするものとなっているか？**
2. **伐採する（権限を有する）者と伐採後の造林をする（権限を有する）者が異なる場合、連名となっているか？**

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 市 　 町  大字　　　　字　　　　　地番  　　　　　郡　　　　　村 |

２　伐採及び伐採後の造林の計画

　　別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

**森林法以外の法令により施業の制限がある場合はその種別等を記載する。**

３　備考

|  |
| --- |
|  |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採する者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。

３　伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

（別添）

伐 採 計 画 書

1. **小数第2位まで記載（第3位で四捨五入）**
2. **皆伐は、全ての地番の合計面積を記載。**
3. **伐採の期間が１年を超える場合は年次別に記載**

（伐採する者の住所・氏名）

住　所　登米市東和町○○字○○１-２

届出人 氏　名 登米　太郎

１　伐採の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | | ha(うち人工林　　ha、天然林　　ha) | | |
| 伐採方法 | | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 |  | ％ |
| 作業委託先 | | 1. **始期は届出年月日以降30～90日となっているか？** 2. **伐採の期間が１年を超える場合は、年次別に伐採の計画が記載されているか？** | | |
| 伐採樹種 | |  | | |
| 伐採齢 | |  | | |
| 伐採の期間 | |  | | |
| 集材方法 | | 集材路・架線・その他（　　　　　） | | |
|  | 集材路の場合  予定幅員・延長 | 幅員　　　ｍ　・　延長　　　ｍ | | |

**幅員３ｍ超えで、その面積が１ｈa超えとなっていないか。**

２　備考

|  |
| --- |
|  |

注意事項

１　伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

２　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

３　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

４　伐採の期間が１年を超える場合においては、年次別に記載すること。

（別添）

1. **伐採の方法が主伐場合、伐採面積と造林面積が一致する。（伐採後に森林以外の用途に供される場合を除く。）**
2. **市町村森林整備計画に定める「植栽によらなければ「的確な更新が困難な森林」又は「木材生産機能維持造林のうち、特に効率的な施業の可能な森林」のうち人工林の場合、人工造林が計画されていること**
3. **伐採跡地が確実に更新される方法が選択されているか。**

造 林 計 画 書

（造林をする者の住所・氏名）

住　所　登米市東和町○○字○○１-２

届出人 氏　名 登米　太郎

１　伐採後の造林の計画

**植栽の場合、樹種別の植栽本数が市町村整備計画に定める人工造林の標準的な方法に適しているか。**

**登米市（ha当たり）スギ、ヒノキ3,000本、アカマツ、カラマツ4,000本、但し、コンテナ苗、大苗は1,000～2,000本**

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | ha |
| 人工播種による面積（Ｂ）  **複数の樹種を造林する場合は樹種ごとに記載する。** | | ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 | 作　業  委託先 | 鳥獣害  対　策 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | |  |  | ha | 本 |  |  |
| 天然更新  （ぼう芽更新・  天然下種更新） | |  |  | **市町村森林整備計画に定める人工造林をすべき期間に適合しているか。**  **皆伐の場合：伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して２年以内**  **択伐の場合：伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年を超えない期間** |  |  |  |
|  | ５年後において  適確な更新が  なされない場合 |  |  |  |  |  |  |

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

**市町村森林整備計画に定める天然更新をすべき期間に適合しているか。伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年以内か。**

|  |
| --- |
|  |

1. **天然更新又は森林以外の用途に供されることが計画されている場合に本欄がすべて記載されているか。**
2. **５年後に天然更新が完了していない場合又は森林以外の用途に供されていない場合に、その時点から２年いないに造林する計画となっているか。**

２　備考

|  |
| --- |
|  |

1. **伐採後の用途が森林以外（転用）である場合、その用途を記載する。**
2. **転用面積の１ｈa以上は宮城県へ届出。**
3. **Ｒ5.4.1から転用で太陽光面積0.5ha以上も県へ届出。**

注意事項

１ 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

２　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において

・植栽によらなければ適確な更新が困難な森林　又は

・木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林

として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

３　造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

４　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。

５　鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

６　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。